

# あいの助密書

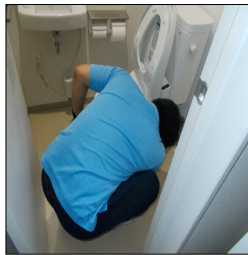
～愛・達・一の助

お陰様で第11号  
発行所  
有限会社猪木酸素  
〒515-0001 福井県福井市  
アサポートあいの助  
福井山営業所

## 秋の夜長に考える



### 掃除って大事でした



て頂いているフロアのみ  
ですが・・・汗

哲学者・内田樹(たつる)氏は、『下流志向』の中

で「労働の本質は雪かきにある」と言っている。

どっぴいっことか。雪かきをする人は、雪かきをしているところを多くの

人から目撃されることはない。人々が仕事に行く

時には既に雪かきは終わっている。

そのきれいに雪かきされた道を、みんな当たり前のように歩いて出勤する。中には「俺が起きる前に誰かが雪かきをしてくれたんだ」と思いながら職場に急ぐ人もいるかもしれないが、誰がしたか分からないので、その感謝の気持ちが言葉になることはない。

しかし、誰かがそれをしなかったら、凍りついた雪に足を滑らせて転んだり、ケガをしたりする。

つまり、雪かき是谁かを喜ばすためにするのはなく、その道を通る人たちがいつものように普通に歩いて行けるようにやっているのだから。

誰も見ていないし、誰からも称賛されることはない。それでも、その作業を誰かがやらなければならぬ。そういう人がいることで、実は社会はうまく回っているのだ。

そして何事もなく、平常通りに人々が仕事に行ってしまつたのを見届けた時、雪かきした人はものすごい充実感を感じるのだろうか。

内田氏は、足元にある大切なものに気づかず、遠くにある「幸せの青い鳥」を探して旅をする」とと、「雪かき」を対比させている。

「自己利益の最大化」を求めて「青い鳥」を捜しに行く生き方も、もちろん尊重されるべきだが、そういう人たちは「雪かき作業」に対する敬意が欠けているのではないかと。

きつと自分も「誰かが雪かきした道」を歩いているのだろうか。それが何なのか、まだ分からないが、自分が「雪かき」のようなことをする時には、今よりましな大人になっているのではないだろうか。

日本講演新聞より転載

只今修行中 こんな気持ちです。

**逸品紹介**

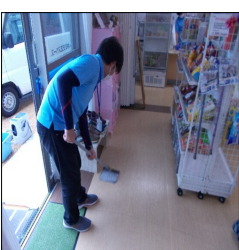
ソフトグリップ 伸縮アルミ杖「ベーシック」  
パイプ径二四ミリ  
定価 四一八〇円(税込)  
6色あり。パイプ径一八ミリもあり。

『指また』が無理なく握れ、壁やテーブルに立てかけても滑りにくい。軽くて丈夫な一本杖。

地域の皆様の暮らしを「陰ながら」と支える」をモットーに日々活動中の有限会社猪木酸素玉島店フイフサポートあいの助です。秋雨の8月が過ぎ、虫の音も涼しげな季節になって参りました。今月号は、秋の夜長に考えた「あいの助」の存在意義について悩んでいきたいと思えます。以前、若手スタッフから「うちの特徴、強味ってなんですかね?」と聞かれたことがあります。その時は「自分で考えて下さい」と獅子の子を千尋の谷に突き落としたのですが、これは営業なら誰しもが一度ならず永遠に抱き続ける問いです。お客様から「あなたに任せたい」と言って頂くまでの果て

しな遠く感じる道のり・・・痺れます。バブル期く失われた三〇年を、大海を小舟で渡るような気持ちで未だに漕ぎ続けているアフリフおやじの私も、若いころにはその問いを解消すべく様々な研修・セミナーへ参加したり、営業スキルアップの本を何冊も読んだりしました。ランチェスター戦略、ブルーオーシャン戦略、ストーリー話法などなど。でも何か満たされない。全てではないですが、テクニク論、方法論には他社から奪つ・取るという内容に終始していた気がします。うまく表現出来ませんが「自分」が無い感じです。自分が虚ろなままお客様へより良いサービスなど出来るは

れからが正念場です。そろそろ越冬へ向けての準備を始めなければなりません。先日は、有料老人ホーム桜日和の磯島施設様様を訪問、ビニールハウス設置場所の整備をされ



### 農園の近況 アポカド栽培記



「笑顔のアポカド農園」の近況ご報告です。セルパ、チヨケ

テ、シモンズ、リンダ等新たな仲間が増えました。そして、こ



れからが正念場です。そろそろ越冬へ向けての準備を始めなければなりません。先日は、有料老人ホーム桜日和の磯島施設様を訪問、ビニールハウス設置場所の整備をされ

ました。

まだまだ日中の日差しは強く、へとへとになられてました。

お疲れ様です。